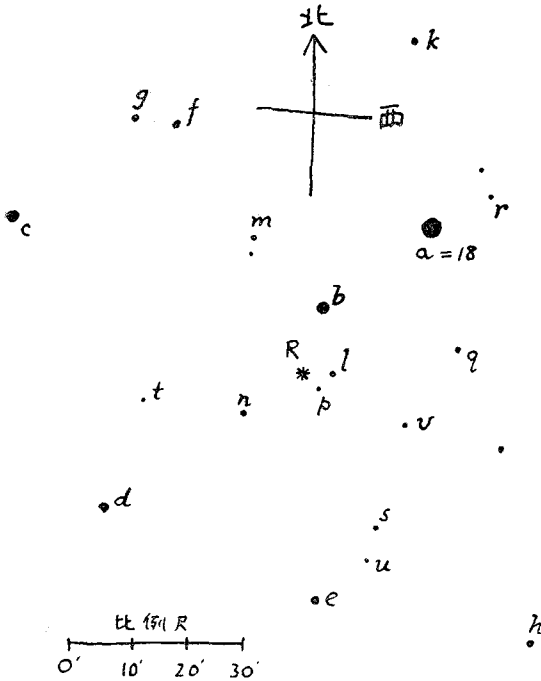


獅子座のR星

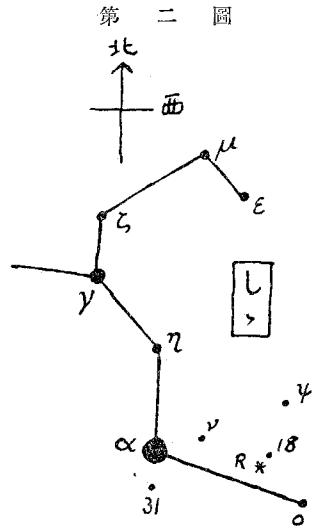
山本一清

一月には、日が西に暮れて二—三時間のうちに、東の地平線からレグルス星に率ゐられたしし座が登つて来る。前肢を前に突き出して、西隣りのかにを追ふ勇壯な姿は、いつ見ても好いものである。(「天界」第63號第186頁を見ら

第一圖



第二圖



れよ。)——北のしし座の胸部に當る首星レグルスの西へ約5度の位置にR星とよばれる變光星がある。此のR星はアルゲランダーのボン調査 (Bonner Durchmusterung) 中には北緯12度の帯(ゾーン)にある第2096番の星であつて、其の精密な位置は

1855 0年の分點で

赤經 9h 39m 45s

赤緯 +12°5.19

と記され、光度は單に Var (變光星) と記されてある。實際、この星は1782年にコホ(J. A. Koch)が變光星たるこゝを發見したもので、アルゲランダーは之れをRと命名した。そして第十九世紀の初以來アルゲランダー、バケセンデ

ル、ハルト井ヒ等によつて観測された。これは

1900.0年の分點では 赤經 $9^h 42^m 11^s$ 赤緯 $+11^\circ 53.6'$

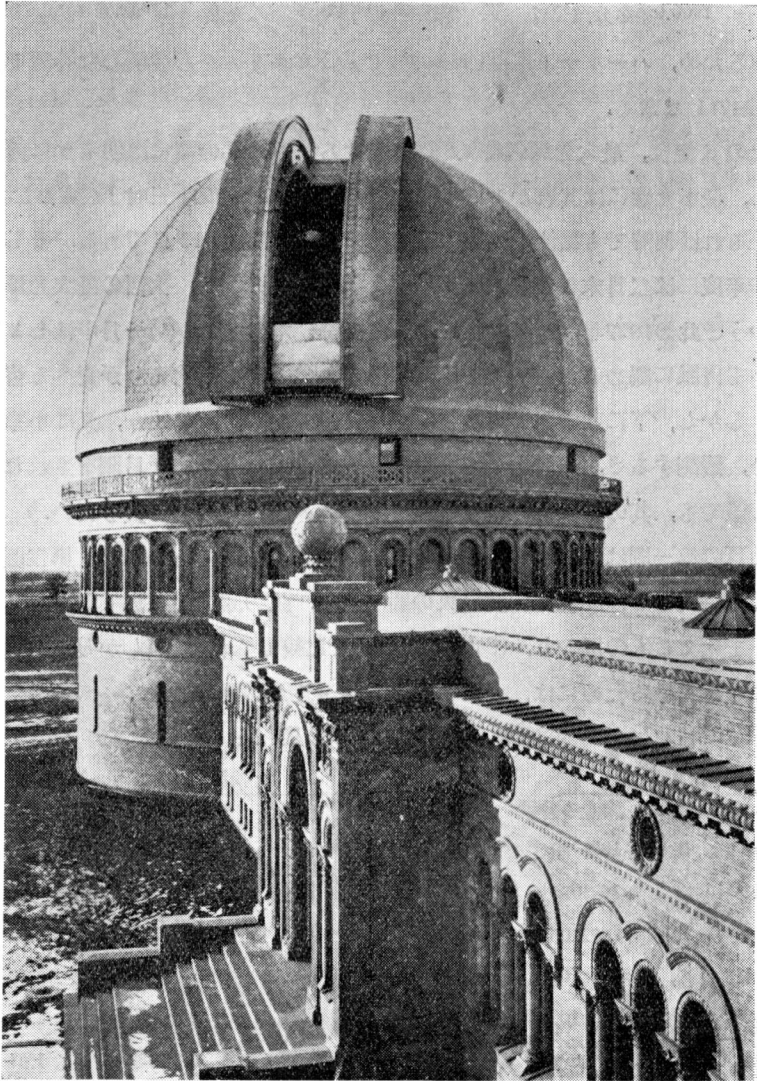
であるため、ハーバード學院(カレヂ)でECピケリングが發明した符號で言へば 094211 となる。

此のR星は、最大光輝の時4.6級に達するから、其の頃には明らかに肉眼に見え、最小光輝には其れが10.8級まで降る。故に普通の「三吋」ぐらゐな望遠鏡があれば何時でも観測の出来る星である。週期は約310日である。そして、1926年度には二月末日に最大光輝に達したのであるから、次回の最大光輝は、ちやうど此の1927年の御正月頃となる。多分、本年(1927年)一月中はしし座に於いて肉眼に認められる光力を示すだろう。二月から漸次光りが衰へる筈である。しかし、下に此の星の比較星を擧げて置くから、双眼鏡か、又は小型望遠鏡で、観測するに、一層の興味を増すものである。(光度の目測をされた人々は、誰でも、其の結果を、本會の観測部變光星課へ通知して貰ひたい。)

前頁の第一圖はR星と其の比較星を示す精密星圖である。又、第二圖は、星附近の天をさがすための廣い天の圖である。此の第二圖に出てゐる星は皆、肉眼で見えるものばかり、(「古賀恒星圖」に比較せられよ。)しかし第一圖の中の星を悉く見るためには、7センチ位の望遠鏡が必要である。

比較星の光度表

比較星			比較星		
假りの符號	ボン調査の番號	光度	假りの符號	ボン調査の番號	光度
a	+12°2090	5.84	m	+12°2097	9.6
b	+12°2095	6.43	n	+11°2105	9.68
c	+12°2105	6.62	p	+12°2094	9.64
d	+11°2108	7.23	q	+12°2089	10.12
e	+11°2102	7.5	r	+12°2087	1.03
f	+12°2099	8.21	s	+11°2100	1.04
g	+12°2101	8.85	t	+12°2100	1.04
h	+11°2094	9.64	u	+11°2101	1.05
k	+12°2092	9.1	v	+11°2098	10.45
l	+12°2093	8.98			



ヤーキース天文臺

(世界天文臺めぐり……其三)

一望千里のキスコンシン平野の中に、徑百尺、高さ百五十尺の大ドームを持つ此の天文臺は「四十吋」の大き、輪環の美さを全世界に誇つてゐる。此の寫眞は、「二呎」反射鏡室から西北に面して撮つた大ドームと玄關口との景である。